FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド(年２回決算型)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第35期(決算日2026年３月13日)

作成対象期間(2025年９月17日～2026年３月13日)

第35期末(2026年３月13日)	
基準価額	24,060円
純資産総額	2,492百万円
第35期	
騰落率	15.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債ファンド（年２回決算型）」は、2026年３月13日に第35期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。

フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目５番１号
お問合わせ先
TEL 03-5219-5947
（受付時間　営業日の9:00～17:00）
https://www.franklintempleton.co.jp

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2025年９月17日～2026年３月13日）



期　首：20,881円
期　末：24,060円（既払分配金(税込み)：０円）
騰落率：　15.2%（分配金再投資ベース）

（注）基準価額算出に関する事務処理上の誤りにより、2026年３月２日の基準価額が、本来あるべき基準価額から乖離して低く算出されました。詳しくはお知らせをご覧ください。
（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年９月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。公社債利金を手堅く確保したほか、ブラジルレアル高・円安を反映して、為替損益もプラスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2025年9月17日～2026年3月13日）

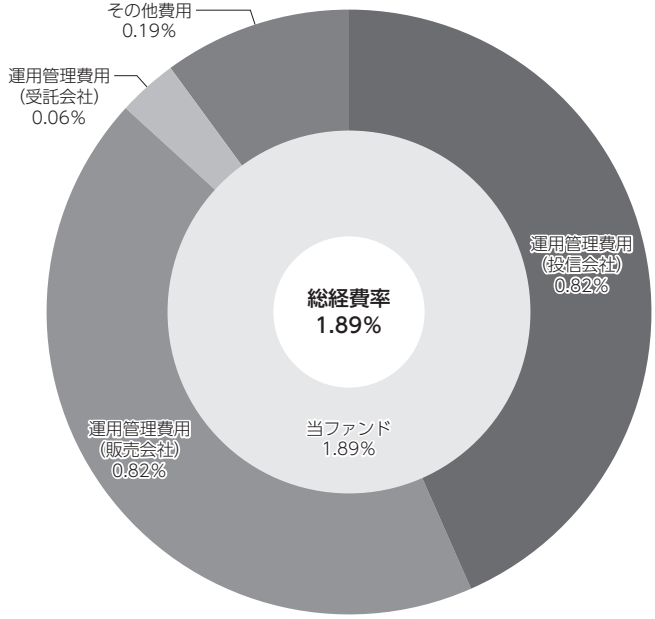
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	187	0.831	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(90)	(0.402)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(90)	(0.402)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	21	0.093	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(15)	(0.069)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(3)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(3)	(0.013)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合計	208	0.924	
期中の平均基準価額は、22,446円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2021年3月15日～2026年3月13日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2021年３月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年３月15日 決算日	2022年３月14日 決算日	2023年３月13日 決算日	2024年３月13日 決算日	2025年３月13日 決算日	2026年３月13日 決算日
基準価額　（円）	10,692	12,583	15,533	19,858	18,141	24,060
期間分配金合計(税込み)　（円）	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　（％）	－	17.7	23.4	27.8	△ 8.6	32.6
純資産総額　（百万円）	5,103	4,615	3,127	2,867	2,246	2,492

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

（2025年９月17日～2026年３月13日）

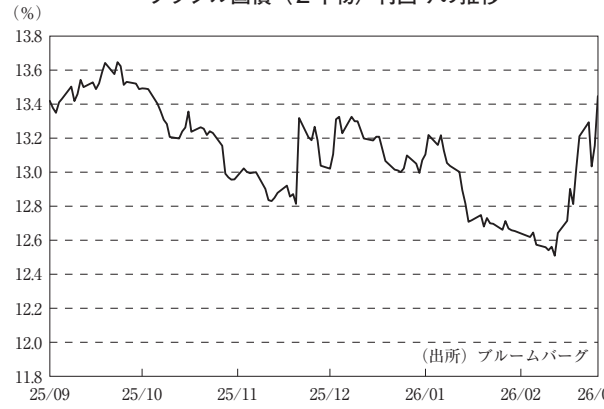
当期のブラジル債券市場では、利回りが前期末比ほぼ変わらずとなりました。

期の前半は、ブラジル下院が所得税の非課税枠を拡大する改正案を可決したことから、財政悪化懸念が意識されたため、利回りは長期債を中心に一時上昇（価格は下落）しました。しかし、その後はブラジルの消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことから、ブラジル中央銀行（BCB）の利下げ開始観測が高まったため、利回りは低下（価格は上昇）しました。

期の半ばは、ブラジルのボルソナロ前大統領が2026年の大統領選挙に向けて長男を後継候補として指名したとの報道を受け、より穏健で改革志向の候補者が台頭する可能性が後退したとの見方が広がり、ブラジル市場は株・債券・通貨が下落するトリプル安の展開となるなか、利回りは急上昇しました。しかし、その後は米国が麻薬密売に関与したとしてベネズエラの反米左派マドゥーロ大統領を拘束したことを受けて、2026年に重要な選挙を多く控える中南米全体で左派から右派への政権交代が進むとの見方を背景に、市場重視の改革が進展するとの思惑が広がるなか、ブラジルへも海外から資金が流入するとの期待が高まり、ブラジルの利回りは低下に転じました。

期の後半は、BCBが2026年１月の金融政策決定会合で政策金利を据え置いたものの、2026年３月の会合での利下げを示唆したことから、利回りは一段と低下しました。しかし、その後はイラン情勢の悪化を受けて原油先物価格が上昇するなか、インフレ懸念を背景にBCBの利下げペースが鈍化するとの懸念が強まり、期末にかけて利回りは上昇しました。

ブラジル国債（２年物）利回りの推移

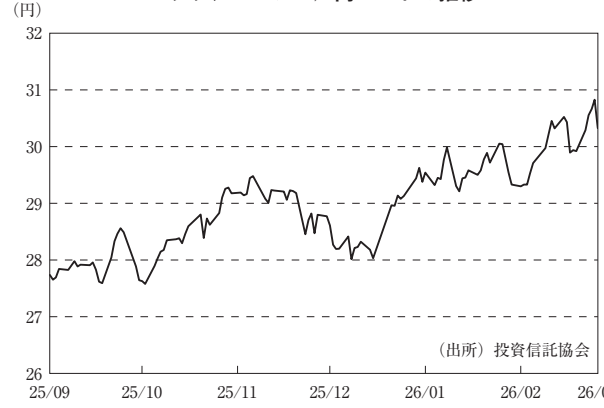


当期のブラジルレアル・円相場は、レアル高・円安となりました。

期の前半は、米中貿易摩擦を巡る懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、低リスク資産とされる円を買う動きが広がったため、一時レアル安・円高が進みました。しかし、その後は高市首相による新政権のもと財政拡張や金融緩和が進むとの観測に加え、米中首脳会談の開催を控え貿易摩擦激化に対する懸念が緩和されたことを背景に、レアル高・円安に転じました。

期の半ばは、ブラジルのボルソナロ前大統領による大統領選挙の後継候補指名の報道を受け、ブラジル市場がトリプル安の展開となるなか、対円でもレアル安が進みました。しかし、その後はベネズエラのマドゥーロ大統領の拘束を背景に、ブラジルでも左派から右派への政権交代が進むとの見方

ブラジルレアル／円レートの推移



を受けて、市場改革の進展からブラジルに資金が流入するとの期待が高まり、レアル高・円安が進みました。

期の後半は、日米当局が為替介入を前提にレートの提示を求める「レートチェック」を実施したのではないかとの観測が高まった局面では、円が対米ドルで急伸したため、対レアルでも円高が一時進みました。しかし、その後は日本の衆院選における自民党優勢が伝えられるなか、財政拡張への警戒感が意識されたことや、日本政府が金融緩和に前向きとみられる学識者を日銀審議委員に起用する人事を提示したことなどから、レアル高・円安が優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2025年9月17日～2026年3月13日）

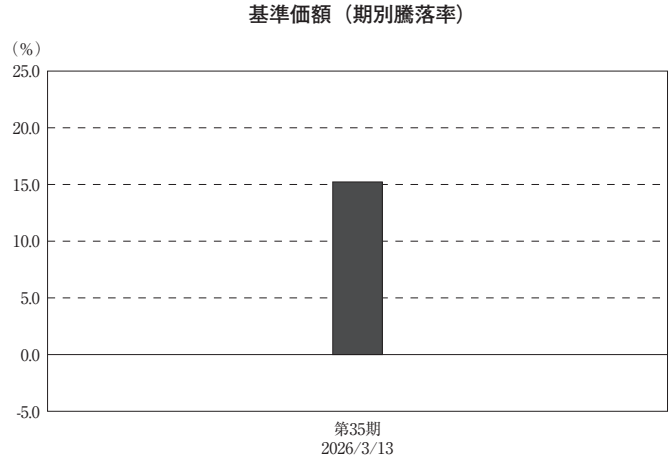
当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年9月17日～2026年3月13日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2025年９月17日～2026年３月13日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきました。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位:円、１万口当たり･税込み）

項　　目	第35期 2025年９月17日～ 2026年３月13日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	21,536

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

主にブラジルレアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

お知らせ

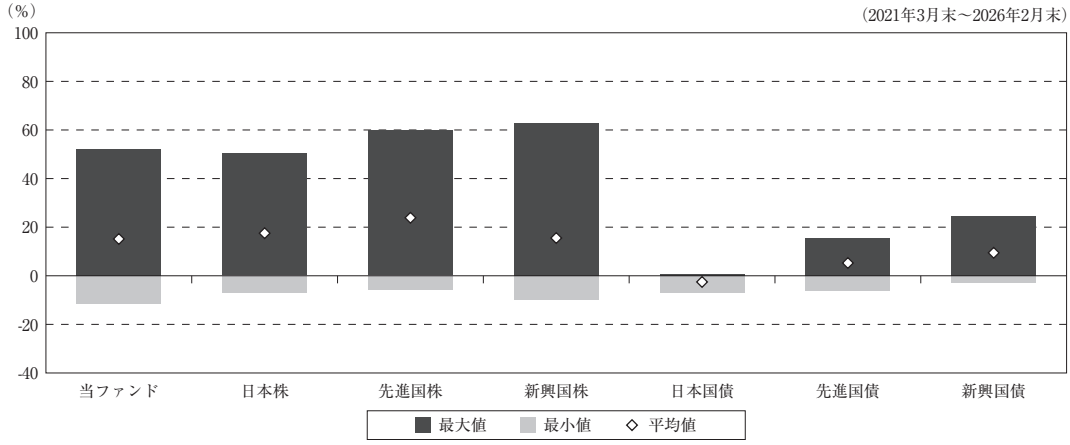
基準価額算出に関する事務処理上の誤りにより、2026年３月２日の基準価額が、本来あるべき基準価額から乖離して算出されました。本件事案は、投資家の皆様の投資行動に誤認を与えてしまいかねないことから、2026年３月３日付の追加設定および一部解約の申込につきまして、受付中止措置を実施いたしました。
なお、基準価額は2026年３月２日を除き正しく算出されており、設定・解約のお申し込みは2026年３月４日以降、通常通り受付を行っております。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年２回の決算日（原則として毎年３月13日及び９月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.1	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 11.5	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	15.1	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2021年３月から2026年２月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

（※）各資産クラスの指数
日 本 株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…NOMURA-BPI国債
先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について
騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年3月13日現在）

○組入上位ファンド

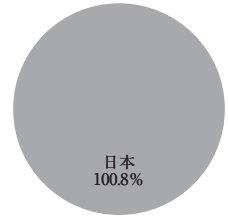
銘　柄　名	第35期末
	%
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	100.8
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

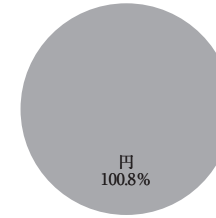
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

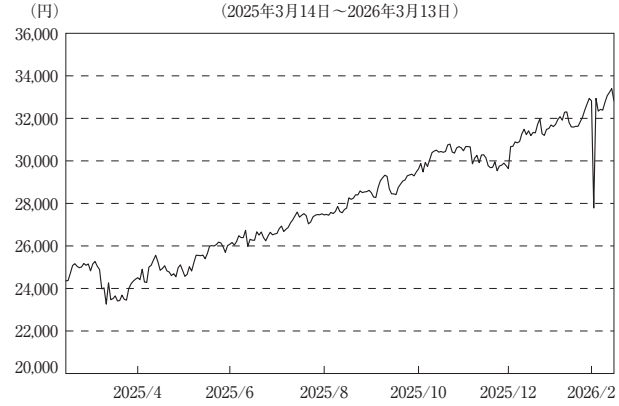
項　　目	第35期末
	2026年3月13日
純資産総額	2,492,278,060円
受益権総口数	1,035,874,934口
1万口当たり基準価額	24,060円

＊期中における追加設定元本額は65,791,714円、同解約元本額は169,878,063円です。

組入上位ファンドの概要

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

【基準価額の推移】



（注）基準価額算出に関する事務処理上の誤りにより、2026年３月２日の基準価額が、本来あるべき基準価額から乖離して低く算出されました。なお、基準価額は2026年３月２日を除き正しく算出されております。

【１万口当たりの費用明細】

（2025年３月14日～2026年３月13日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) その他費用	39	0.137
（保管費用）	(39)	(0.137)
合計	39	0.137
期中の平均基準価額は、28,132円です。		

（注）上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

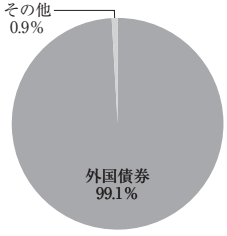
【組入上位10銘柄】

（2026年３月13日現在）

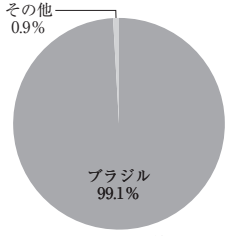
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	LETRA TESOURO NACIONAL 2026/10/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	35.8
2	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2026/4/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	17.6
3	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2029/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	15.6
4	LETRA TESOURO NACIONAL 2026/7/1	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	13.3
5	BRAZIL-NTN-F 10%(NOTA TESO N10% 2027/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	10.8
6	BRAZIL-NTNB 6%(NOTA TESO N6% 2026/8/15)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	5.1
7	BRAZIL-NTN-F 10%(NOTA TESO N10% 2029/1/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.6
8	BRAZIL-LTN (LETRA TESO NA 2027/4/1)	国債証券	ブラジルレアル	ブラジル	0.4
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
組入銘柄数		８銘柄			

（注）比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

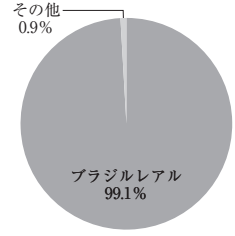
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。